

ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会
推薦内定選手の決定（第 2 次）について

公益財団法人日本障害者スキー連盟
会長 椎名 茂

公益財団法人日本障害者スキー連盟（会長 椎名 茂）は、「ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会選手推薦基本方針および推薦基準」（以下、推薦基本方針および基準）に基づき、2025 年 12 月 25 日に開催した理事会において、ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会推薦内定選手（第 2 次）を以下のとおり決定し、日本パラリンピック委員会（JPC）に推薦することにいたしました。

推薦内定選手は、2025/2026 シーズンに、国際パラリンピック委員会（IPC）が規定する「2026 ミラノ・コルティナパラリンピック大会出場資格規定」の出場資格を満たす必要があります。

また、選考要素を満たさない怖れが発生した場合（例、競技力に影響を及ぼす怪我や故障、アンチ・ドーピング違反、インテグリティやコンプライアンス違反など）、理事会にて推薦の取り消しを決定する場合があります。

今後、「推薦基本方針および基準」に基づき、推薦内定選手の追加（第 3 次：2026 年 1 月）を予定しています。日本代表選手団の決定は、当連盟からの推薦に基づき、日本パラリンピック委員会（JPC）にて行われます。

本件に関して推薦内定選手および強化スタッフへの直接の問い合わせ、取材申し込みはご遠慮いただき、当連盟の問い合わせフォームにてお問合せ、ご依頼いただきますようお願い申し上げます。

（お問い合わせ）公益財団法人日本障害者スキー連盟
内容に関する問い合わせ <https://jps-ski.com/contact>
取材申請 <https://jps-ski.com/interview>
広報担当 隅野 礼雄(090-1548-9671)

【参考】

- ・公益財団法人日本障害者スキー連盟

ミラノ・コルティナパラリンピック競技大会選手推薦基本方針および推薦基準

<https://jps-ski.com/wp-content/uploads/2025/06/486cfcf83151234c5cbbe001d1cc882b.pdf>

- ・IPC 2026 ミラノ・コルティナパラリンピック冬季大会出場資格規定

<https://www.paralympic.org/milano-cortina-2026/qualification-regulations>

- ・JPC「ミラノ・コルティナ 2026 パラリンピック冬季競技大会 日本代表選手団編成方針及び選手選考基準」

<https://www.parasports.or.jp/paralympic/news/01.%E3%83%9F%E3%83%A9%E3%83%8E%E3%83%BB%E3%82%B3%E3%83%AB%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%8A2026%E3%80%90%E7%B7%A8%E6%88%90%E6%96%B9%E9%87%9D%E5%8F%8A%E3%81%B3%E4%BB%A3%E8%A1%A8%E9%81%B8%E6%89%8B%E9%81%B8%E8%80%83%E5%9F%BA%E6%BA%96%E3%80%910925.pdf>

◆推薦内定選手のコメント

【アルペンスキー】

●小池岳太

この度、二次選考において推薦内定をいただき、誠に有難うございます。6大会目となる今大会に向けては、これまで以上に多くの方々、企業様のご支援、指導者皆様のご指導のお陰様で挑戦を続けることができますこと、改めて心より感謝申し上げます。

目標は変わらず悲願である「メダルを獲ること」。その上で、最低限入賞を果たし、チームにしっかりと貢献できるよう努力していきます。素晴らしいコーチ陣、スタッフの支援もあり、本大会に向けて、まだまだ強化していく余地があります。ベテラン選手ですが、世界の若手選手に臆することなく、過去最高レベルの滑りを作り上げるために、残りの期間も必死にトレーニングに励んで参ります。どうぞご期待ください。

【ノルディックスキー】

●源貴晴

この度、2026 ミラノ・コルティナパラリンピック出場の推薦内定を頂き嬉しいです。ようやくスタートラインに立つことが出来ました。もう一つの目標である入賞以上を目指してワクワクするレース展開をします。努力は必ず報われることを証明し明るい未来を切り開いていきたいです。応援宜しくお願い致します。

●佐藤圭一

2026 ミラノ・コルティナパラリンピック代表推薦内定を、心から光栄に思います。近年は大病と怪我の連続で厳しい闘いが続きました。手術後の痛みを堪え、最終選考で滑り切った瞬間は、人生の再誕でした。身体の限界を感じつつも、この身体に宿る闘志が、私を世界へ押し上げます。これまで私を支えてくれた全ての皆さんへの感謝を胸に全身全霊で挑みます！

●有安諒平

ミラノに出場し、結果を出すために、この4年間トレーニングを積み重ねてきました。

4年前の北京大会、その前の夏季の東京大会ではコロナ禍の影響も色濃く、夏冬並行しての競技活動にも苦労した記憶があります。北京大会を経て、スキーに軸足を移す決断をし、ここまで駆け抜けてきました。本当に多くの方のご支援や応援を受け、それが力に変わることを実感してきました。そのおかげで今回、ミラノ大会の推薦内定をいただけたと思っております。そしてそのことを大変光栄に思います。4年前は、まだゆりかごの中だった娘も、今回はしっかり応援してくれています。日ごろからご支援をいただいている選手の1人として、同じくこの大会を目指してきた選手達の代表の1人として、連盟の選手会長として、そして妻と娘にかっこいい姿を見せたい1人の男としても、胸を張って帰国できるように全身全霊で大会に挑みたいと思います！魅力あふれるパラスノースポーツを、引き続き応援の程、よろしくお願い致します！

●藤田佑平（有安選手ガイドスキーヤー）

この度 2 次推薦内定を頂き、大変嬉しく存じます。

スポンサーの皆様を筆頭に、日頃から応援してくださる皆様には感謝の念に堪えません。パラリンピックでは選手と共に「入賞以上」を目標に挑みます。

目標達成はもちろん、スリーアギトスに象徴されるパラリンピックの理念を体現すべく、ガイドスキーヤーとしての最高の滑りを実現します。

今季は一層課題の多いシーズンになるかと思いますが、自身の姿を通して次の世代に何を伝えられるかを常に考え、楽しみながら乗り越えていきます。

引き続き、ご支援いただけますと幸いです。よろしくお願いいたします。

●岩本美歌

ミラノ・コルティナパラリンピックの推薦内定をいただき、大変嬉しく思います。

初出場の北京パラリンピックではとても悔しい思いをしました。その悔しさを晴らすためにこの 4 年間たくさん努力をしました。一筋縄ではいかないことが多く、何度も挫折しました。正直なところ、現在の私には日本代表としてまだ足りないところがあると思いますが、私の理想像に少しでも近づけるように 3 月まで全力を尽くします。

ここがゴールではなくスタート地点だと思って引き続き頑張ります。